

サイム・ダービー(SIME)

UMW事業の協業先である日本トヨタ、自動車事業の主力ブランドである独BMW。世界的メーカーと強力タッグ

フィリップ証券株式会社

マレーシア | 自動車卸売 | 業績フォロー

Bloomberg SIME:MK | REUTERS SIME.KL

- 2025/6期9M（7-3月）は、売上高が前年同期比8.2%増、コアPBITが同1.9%増。1年前に買収したUMWホールディングスが業績に貢献した。
- インダストリアル事業は豪州が前年同期の特需の反動減で伸び悩みの一方、2023年に買収した豪州2社の利益貢献に加え、受注残が増加。
- トヨタ自動車と協業するUMWホールディングスの買収が業績に貢献。自動車事業で主力ブランドの独BMWは対中国のEV戦略に期待。

What is the news?

5/27発表の2025/6期9M（7-3月）は、売上高が前年同期比8.2%増の523.03億MYR、一時的要因の影響を除く継続事業からのコア利払い前税引き前利益（PBIT）が同1.9%増の19.12億MYR、純金融費用が同8.8%増の4.32億MYRと嵩んだことが響き、コア純利益が同8.1%減の8.26億MYRだった。インダストリアル事業と自動車事業が伸び悩んだものの、1年前に買収したUMWホールディングスの拡大が増収・増益に貢献した。

9Mの主なセグメント別の業績は以下の通り。①主に重機・建設機械ビジネスを扱う**インダストリアル事業**は、売上高が前年同期比5.8%減の140.94億MYR、コアPBITが同17.3%減の8.83億MYR。豪州でキャタピラー製建機の部品の価格が下落したほか、前年同期の建機引渡しに係る大型案件の反動減が出た。2023年に買収した豪州2社（オンサイト・レンタルとCavPower Group）が3Q（1-3月）から利益貢献し始め、2社合計のPBITが1.50億MYRに上った。②**自動車事業**は、売上高が同7.7%減の258.77億MYR、コアPBITが同35.1%減の3.73億MYR。シンガポール・その他が増収増益の一方、マレーシア、中国、オーストラリアが減収減益だった。③マレーシアで自動車や産業機械の製造・販売などを手掛ける**UMW事業**は、売上高が同2.3倍の122.71億MYR、PBITが同2.2倍の6.80億MYRだった。

How do we view this?

同社はヘルスケア事業から撤退後、UMWホールディングスの買収を2024年3月に完了。買収により従来の独BMW部門（Perodua）に加えて、トヨタ自動車など有力ブランドと協業する企業（UMWT）を傘下に収め、豪州における市場シェアを拡大している。4月以降はUMW部門の全体への寄与度が正常化してくることから、主力のインダストリアル事業と自動車事業の回復が期待される。

インダストリアル事業は、設備や電力システムのパイプライン増加に伴って受注残が積み上がり、3月末で前年同期比13%増と47.87億MYRとなった。自動車事業は、主力販売ブランドのメーカーである独BMWの対中国戦略が鍵を握る。BMWは電気自動車（EV）の開発で現地メーカーとの提携を重視し、ローカライズを重視した戦略に転換中だ。

非中核事業を手放し、中核事業の建設機械・自動車にターゲットを絞って事業を拡大する経営戦略は市場でも好評価が見込まれる。

業績推移

※参考レート 1MYR=34.31円

事業年度	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6F	2026/6F
売上高（百万MYR）	42,502	48,288	67,132	68,522	68,613
当期利益（百万MYR）	1,103	1,458	3,306	1,205	1,164
EPS（MYR）	0.16	0.21	0.49	0.18	0.17
PER（倍）	11.34	8.72	5.06	9.33	9.88
BPS（MYR）	2.35	2.48	2.84	2.96	3.03
PBR（倍）	0.77	0.74	0.87	0.57	0.55
配当（MYR）	0.12	0.13	0.13	0.11	0.12
配当利回り（%）	6.34	7.10	5.25	6.55	7.14

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（MYR）	0.11	（予想はBloomberg）
終値（MYR）	1.68	2025/7/7

会社概要

1910年にスコットランドの冒険家ウィリアム・ミドルトン・サイム、イングランドの銀行家ヘンリー・ダービーにより天然ゴム栽培企業として設立。現在は、インダストリアル事業、自動車事業、ロジスティクス事業、ヘルスケアの4事業を営む。

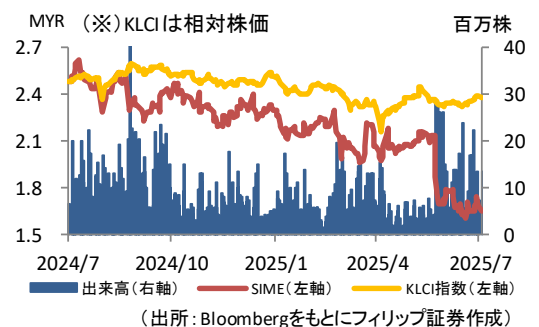
①**インダストリアル事業**は、重機・建設機械ビジネスのリーダーとして、キャタピラーをはじめ幅広いブランドを扱うほか、ソリューションサービスも提供する。

②**自動車事業**は、BMW、ジャガー、ランドローバー、ポルシェなどに代表される高級ブランドから、フォードやヒュンダイなど一般向けブランドなども手掛ける。輸入・組立から流通、小売、レンタルに至るまで、自動車ビジネスのあらゆる面に積極的に関与している。

③**UMW事業**は、マレーシアのUMWホールディングスがマレーシアで自動車や産業機械の製造・販売を手掛け、傘下企業は日本のトヨタ自動車と協業する。

企業データ（2025/7/8）

ベータ値	1.06
時価総額（百万MYR）	11,450
企業価値=EV（百万MYR）	22,993
3か月平均売買代金（百万MYR）	16.9



主要株主（2025/7）

	（%）
1.AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	39.13
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	17.22
3.KUMPULAN WANG PERSARAAN	6.70

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部

笹木 和弘
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。